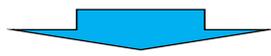


第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	体づくり推進事業			事業番号	01-103
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	保健福祉部健康づくり担当	井上 稔	スポーツ課	杉山 秀久	

計 画 (Plan)

総合計画体系	暮らし力	まちづくり目標	1	誰もが明るく暮らせるまち		
		基本政策	1	健やかに生き生きと暮らせるまちづくり		
		施策展開の方向	1	生涯にわたって健康に暮らせるまちをつくる		
		施策	1	自ら取り組む健康づくりの推進		
予算事業名	体づくり推進事業費					
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない	
事業開始年度	開始年度	平成21年度	～	終了年度	-	
関連法令等	スポーツ基本法					
国・県の計画等	スポーツ立国戦略			計画期間	-	
関連個別計画	伊勢原市教育振興基本計画 伊勢原市市民生涯スポーツ推進基本計画			計画期間	平成22年度～平成29年度 平成25年度～平成34年度	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	少子高齢社会の進展に伴い、中高齢者における健康増進や体力の維持向上に対する関心が高まっております。また、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピック・パラリンピック開催に伴う運動・スポーツに対する機運が高まることが想定される中、市民誰もが生涯にわたり気軽に運動・スポーツに親しめる環境づくりが求められております。					
目的 (何をどうしたいのか)	大学や地域等と連携し、運動・スポーツの意識啓発を図るとともに、多様なプログラムの実施により、運動の機会を提供し、市民の運動・スポーツの習慣化及び健康づくりの意識向上を図ります。					
主な対象 (誰・何を対象に)	市民や各種スポーツ関係団体					
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢原市と東海大学との包括提携に基づく事業として、東海大学健康クラブによる「東海大学市民健康スポーツ大学」を実施します。</li> <li>新たな総合型地域スポーツクラブ「伊勢原・ふれすぽクラブ」の運営を継続支援し、より多くの市民に運動の機会を提供するとともに、スポーツを通じた交流の場を設けます。</li> <li>伊勢原ウォーキングガイドの活用や住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」の参加により、健康づくり、運動・スポーツのきっかけづくりを行います。</li> </ul>					
事業行程	項目	年度		28年度	29年度	
		東海大学市民健康スポーツ大学	継続実施	継続実施	継続実施	
	伊勢原・ふれすぽ	継続支援	継続支援	継続支援		
	住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」	継続実施	継続実施	継続実施		
目 標	【指標名】	【現状】	年度		28年度	29年度
			健康促進プログラムの提供を受けた市民の延べ人数(累計)	364人	600人	720人
	各種スポーツ教室の参加人数	835人	900人	1,000人		
	15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率(%)	39%	50%	55%		



事業実施(Do)へ

## 事業実施 (D○)

**事業の「取組方針」**  
(前年度事務事業評価)  
総合型地域スポーツクラブの継続的な運営支援を行うとともに、継続的な運動が必要なヘルスアップ対象者に対する事業周知を行います。また、庁内関係機関、各種団体等と連携し、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加や運動・スポーツの習慣化を促進するため「クルリン健康ポイント事業」を開催し、運動・スポーツに無関心な層も含めて、多くの市民が参加しやすい運動プログラムを提供します。

<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input type="radio"/> すべて直接実施 <input checked="" type="radio"/> 左記以外		
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>
			チャレンジデー実行委員会
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>
		東海大学健康クラブ	
<input checked="" type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>	
		伊勢原・ふれすぼへの補助(日体協を経由しスポーツ振興くじtotoの直接補助)	

<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>	
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	東海大学市民健康スポーツ大学	継続実施	継続実施
	伊勢原・ふれすぼ	継続支援	継続支援
	住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」	継続実施	継続実施

**実施した取組の内容**  
「東海大学健康クラブ」では、運動や生活習慣病などをテーマにした講座や筋力トレーニングなどのスポーツプログラムを72講座行いました。「伊勢原・ふれすぼ」では、託児付エクササイズやヨガ教室などのスポーツ教室を行うとともに、世代間交流や育児相談などの場も提供できました。また、4回目となるチャレンジデーに参加し、運動・スポーツの習慣化のきっかけづくりができました。

<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>	
			<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	健康促進プログラムの提供を受けた市民の延べ人数(累計)	364人	590人	683人
	各種スポーツ教室の参加人数	835人	2,535人	3,245人
	15分以上続けて運動やスポーツをした住民の参加率(%)	39%	53.1%	75.8%

		<b>年度</b>	<b>28年度 実績</b>				<b>29年度 実績</b>			
<b>内訳</b>	<b>事業費合計(a)</b>		6,525		千円		4,872		千円	
	<b>国県支出金 ①</b>		5,690		千円		3,000		千円	
	<b>地方債 ②</b>		0		千円		0		千円	
	<b>その他特財 ③</b>		214		千円		250		千円	
	<b>一般財源(a)-①-②-③</b>		621		千円		1,622		千円	
<b>国県支出金の内容</b>		地方スポーツ振興費補助金    補助率:定額								
<b>コスト</b>	<b>その他特財の内容</b>	<b>受益者負担</b>	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無		<b>前回の改定時期</b>	平成29年8月1日				
	<b>その他</b>									
<b>人件費</b>	<b>正規職員</b>	0.50	人	4,325	千円	0.54	人	4,714	千円	
	<b>その他の職員</b>	0.00	人	0	千円	0.12	人	290	千円	
	<b>人件費合計(b)</b>	0.50	人	4,325	千円	0.66	人	5,004	千円	
<b>トータルコスト(a)+(b)</b>				10,850	千円			9,876	千円	
<b>単位当たりコスト</b>	<b>対象数</b>	<b>定義</b>	総合型地域スポーツクラブ等の参加者数		<b>単位</b>	総合型地域スポーツクラブ等の参加者数		<b>単位</b>		
		<b>対象数</b>	5,929	人		6,318	人			
		<b>総事業費/対象数</b>	1,830	円		1,563	円			

**評 価 (Check)**

<b>進捗状況</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり (A) <input type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	A	左記判断理由	総合型地域スポーツクラブである「東海大学健康クラブ」及び「伊勢原・ふれすぼ」の運営を支援し、市民の健康促進プログラムを提供しました。また、市民の運動・スポーツの習慣化のきっかけづくりとして「チャレンジデー」に参加し、参加率は前年対比22.7ポイント増の75.8%で、運動への意識が高まりました。
<b>実施水準</b> [選択・記入]	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	B	他都市の事業内容等	総合型地域スポーツクラブは、国の「スポーツ振興基本計画」において、全国の市区町村に少なくとも1クラブを育成することとされています。県内では、90クラブとなっており、近隣市では、厚木市1クラブ、秦野市1クラブ、平塚市4クラブが活動しています。
<b>有効性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	A	左記判断理由	総合型地域スポーツクラブでは、専門的な視点での講座や運動プログラムによる質の高い事業展開や、参加者のニーズに対するスポーツの種目や個人レベルの工夫を行い、それぞれに合った運動不足の解消やリフレッシュにつなげるとともに、世代間交流も行われ、更なる運動・スポーツの習慣化が見込まれます。
<b>効率性</b> [選択・記入]	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	A	左記判断理由	市と総合型地域スポーツクラブなどの関係団体が連携・協働することにより、運動・スポーツの習慣化を効率的に推進することができました。


 取組の改善 (Action) へ

**取組内容の改善 (Action)**

<b>事業推進上の課題</b>	総合型地域スポーツクラブの運営は、市や日本スポーツ振興センターなどからの補助金、参加会員の会費及びプログラム参加料により賄っているが、自主的な運営を継続するためには、会員や参加者の増員ができる魅力あるプログラムの提供や周知など、運営の工夫が必要となっております。
<b>次年度以降の取組の方向性</b>	総合型地域スポーツクラブの継続的な運営支援を行うとともに、各種スポーツ事業で参加された運動・スポーツに対する意識の維持や運動習慣の定着へのアプローチ、運動・スポーツの無関心層に対する事業周知を行います。また、市と各種団体と連携・協働し、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」の参加などにより、運動・スポーツの習慣化づくりを推進します。
<b>所管部長による総評</b>	市民誰もが生涯にわたり、スポーツを通じて、健康の維持・増進を推進するためには、総合型地域スポーツクラブなどのスポーツ関係団体との更なる連携・協働を行い、事業を推進していく必要があります。今後も市民の運動・スポーツの習慣化を図り、健康づくりを推進いたします。